

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成23年3月24日 (2011.3.24)

【公表番号】特表2002-538774(P2002-538774A)

【公表日】平成14年11月19日 (2002.11.19)

【出願番号】特願2000-592315(P2000-592315)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

C 0 7 K 14/82 (2006.01)

C 0 7 K 16/32 (2006.01)

C 1 2 N 1/15 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 P 21/02 (2006.01)

C 1 2 Q 1/68 (2006.01)

G 0 1 N 33/53 (2006.01)

G 0 1 N 33/566 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

A 6 1 K 39/395 D

A 6 1 K 39/395 M

C 0 7 K 14/82

C 0 7 K 16/32

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 P 21/02 C

C 1 2 Q 1/68 A

G 0 1 N 33/53 M

G 0 1 N 33/566

C 1 2 N 5/00 A

【誤訳訂正書】

【提出日】平成23年2月1日 (2011.2.1)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】特許請求の範囲

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 以下：

(a) 配列番号 1 2 のアミノ酸 1 ～ 1 0 5 3 をコードするポリヌクレオチド；

(b) 配列番号 1 2 のアミノ酸 2 ～ 1 0 5 3 をコードするポリヌクレオチド；

(c) 配列番号 1 3 のアミノ酸 1 ～ 1 0 7 7 をコードするポリヌクレオチド；

(d) 配列番号 1 3 のアミノ酸 2 ～ 1 0 7 7 をコードするポリヌクレオチド；

(e) (a)、(b)、(c)、または、(d) のポリヌクレオチドに 1 または数個の核酸の置換、付加、または、欠失を有するポリヌクレオチドであって、ここで、該ポリヌ

クレオチドにコードされるポリペプチドが G D P - G T P 交換活性を有する、ポリヌクレオチド；および

(f) (a)、(b)、(c)、(d)、または、(e) のポリヌクレオチドのポリヌクレオチド相補体、

からなる群から選択されるポリヌクレオチドを含む、単離された核酸分子。

【請求項 2】 配列番号 9 または配列番号 10 のコード領域由来の全長ヌクレオチドを含む、単離された核酸分子。

【請求項 3】 配列番号 9 のヌクレオチド 1 ~ 1 3 4 6 または配列番号 10 のヌクレオチド 1 ~ 1 2 7 4 由来の 20 個連続したヌクレオチドを含む、単離された核酸分子。

【請求項 4】 配列番号 9 のヌクレオチド 5 1 ~ 1 3 4 6 または配列番号 10 のヌクレオチド 5 1 ~ 1 2 7 4 由来の 50 個連続したヌクレオチドを含む、単離された核酸分子。

【請求項 5】 ポリペプチドをコードするポリヌクレオチドを含む単離された核酸分子であって、ここで 1 または数個のアミノ酸の置換、付加、または、欠失を除いて、該ポリペプチドが以下：

(a) 配列番号 12 の 1 位 ~ 1053 位のアミノ酸をコードするポリヌクレオチド；

(b) 配列番号 12 の 2 位 ~ 1053 位のアミノ酸をコードするポリヌクレオチド；

(c) 配列番号 13 の 1 位 ~ 1077 位のアミノ酸をコードするポリヌクレオチド；および

(d) 配列番号 13 の 2 位 ~ 1077 位のアミノ酸をコードするポリヌクレオチド；

からなる群から選択される核酸配列によってコードされるアミノ酸配列を含み、ここで、該ポリペプチドは、G D P - G T P 交換活性を有する、単離された核酸分子。

【請求項 6】 請求項 1 に記載の核酸分子をプロモーターへ作動可能な連結でベクター中に挿入する工程を包含する、組換えベクターを作成する方法。

【請求項 7】 請求項 6 に記載の方法により生成される組換えベクター。

【請求項 8】 請求項 7 の組換えベクターを宿主細胞中に導入する工程を包含する、組換え宿主細胞を作製する方法。

【請求項 9】 請求項 8 に記載の方法により生成される、組換え宿主細胞。

【請求項 10】 ポリペプチドを産生する組換え方法であって、該ポリペプチドが発現されるような条件下で、請求項 9 に記載の組換え宿主細胞を培養する工程および該ポリペプチドを回収する工程を包含する、方法。

【請求項 11】 以下：

(a) 配列番号 12 の 1 位 ~ 1053 位のアミノ酸；

(b) 配列番号 12 の 2 位 ~ 1053 位のアミノ酸；

(c) 配列番号 13 の 1 位 ~ 1077 位のアミノ酸；および

(d) 配列番号 13 の 2 位 ~ 1077 位のアミノ酸、

からなる群から選択されるアミノ酸に対して少なくとも 90 % 同一なアミノ酸を含む、単離されたポリペプチドであって、G D P - G T P 交換活性を有する、ポリペプチド。

【請求項 12】 単離されたポリペプチドであって、1 または数個のアミノ酸の置換、付加、または、欠失を除いて、該ポリペプチドが、以下：

(a) 配列番号 12 の 1 位 ~ 1053 位のアミノ酸；

(b) 配列番号 12 の 2 位 ~ 1053 位のアミノ酸；

(c) 配列番号 13 の 1 位 ~ 1077 位のアミノ酸；および

(d) 配列番号 13 の 2 位 ~ 1077 位のアミノ酸、

からなる群から選択されるアミノ酸配列を含む、単離されたポリペプチドであって、G D P - G T P 交換活性を有する、ポリペプチド。

【請求項 13】 以下：

(a) 配列番号 12 の 1 位 ~ 1053 位のアミノ酸；

(b) 配列番号 12 の 2 位 ~ 1053 位のアミノ酸；

(c) 配列番号 13 の 1 位 ~ 1077 位のアミノ酸；および

(d) 配列番号 13 の 2 位 ~ 1077 位のアミノ酸、
からなる群から選択されるアミノ酸を含む、単離されたポリペプチド。

【請求項 14】 請求項 11 に記載のポリペプチドに特異的に結合する、単離された抗体。

【請求項 15】 請求項 12 に記載のポリペプチドに特異的に結合する、単離された抗体。

【請求項 16】 請求項 13 に記載のポリペプチドに特異的に結合する、単離された抗体。

【請求項 17】 以下：

(a) 配列番号 9 のヌクレオチド 1 ~ 1346、配列番号 9 のヌクレオチド 51 ~ 1346、配列番号 10 のヌクレオチド 1 ~ 1274、配列番号 10 のヌクレオチド 51 ~ 1274 からなる群から選択される 配列の相補体の少なくとも 15 個連続したヌクレオチドからなる核酸配列を含むポリヌクレオチドプローブを提供する工程；および

(b) 該ポリヌクレオチドプローブを T I A M 2_L の mRNA と接触させる工程、
を包含し、ここで該 T I A M 2_L の mRNA は、

a) 配列番号 9 に示される ヌクレオチド；

b) 配列番号 10 に示される ヌクレオチド；および

c) a) または b) によってコードされるポリペプチドから 20 個未満のアミノ酸が欠失、付加または置換によって変化するポリペプチドをコードするポリヌクレオチドであって、
該 c) によってコードされるポリペプチドは、GDP - GTP 交換活性を有する、ポリヌクレオチド

からなる群から選択される、サンプル中の T I A M 2_L の mRNA の発現を検出する方法。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0071

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0071】

T I A M 2 タンパク質としては、変異体、フラグメント、融合物、および配列番号 6、配列番号 8、配列番号 9、配列番号 10、またはそれらのフラグメント中に列挙される配列によってコードされるタンパク質が挙げられる。ネイティブ T I A M 2 タンパク質は、天然に存在するタンパク質である。ネイティブポリペプチドのアミノ酸配列は、わずかに（代表的には、配列番号 1、配列番号 6、配列番号 8、配列番号 9、または配列番号 10 によってコードされる 10 ~ 20 個未満のアミノ酸）変化する配列を含む。